

哲学専攻のみなさんへ 7つのお願い

2020年4月8日 教務委員 大川真

今回の新型コロナウイルスの感染問題では、たいへんな心配と不安を抱えていることと思います。特に新入生のみなさんは、新学期になってキャンパスに一度も来ることができず、これから学びをともにする同級生や先生方と顔を合わせないままに大学生活をスタートすることになります。

また通常の授業も開講できず、特別休暇期間に続いて23日からは特別措置期間として「多様なメディアを活用した授業」に切り替わります。大学での予定ではまずは5月6日までを予定しますが、コロナ終息が見通せない今、それ以降もしばらく遠隔授業が続くと予想されます。

ITにはもともと疎い我が哲学専攻の先生方は、宇宙語を理解するような困難さに直面しています。しかし、みなさんにできるだけ質の良い遠隔授業を提供するべく日夜自宅にて必死になって取り組んでおります。不慣れなことも多々あるかと思いますが、どうかご理解の程よろしく願い申し上げます。

先ほど述べたとおり、4月23日以降は遠隔授業を行っていきます。つきまして以下のようなお願いをします。

- 1, 新型コロナウイルス感染の影響で学修環境が日々変化しています。大学のホームページをこまめにチェックし、またCplus、manabaからの連絡が届くようにメール設定を確認してください。なお大学からの重要連絡はC-plus、授業での連絡はmanabaを使用します。入学時オリエンテーションで配った(新入生は郵送)ITセンターからのマニュアルをみて、使い方をマスターしておいてください。
- 2, 遠隔授業の受講では、スマホだけだと画面が小さく不便です。できれば安い中古のもので結構ですので、ノートパソコンやタブレットパソコンを用意すると良いです。もちろん個人々の事情もあるので、必須ではありません。スマホしかなく、ノートパソコンやタブレットパソコンを用意する経済的余裕が無いものの、テレビを持っている人は、ミラーリングの機器を買うと良いでしょう。数千円で購入できます。
- 3, 遠隔授業では、情報環境や様々なトラブルで受講できないことが報告されています。そうした場合は、必ず授業時間内に担当の教員にメール等で事情を伝えてください。授業時間後で伝えた場合、欠席扱いになる場合もあります。
- 4, 遠隔授業で入手した教材(動画、PowerPoint資料、レジュメ)は受講者個人だけで保存し、他人に譲渡したり、ネットやSNSで絶対アップしないでください。また遠隔授業の動画配信等で映された、他の学生や自室の様子を写真、動画で撮影することは絶対に止めてください。この

二つのことは道徳の欠如というレベルでは済まされません。犯罪であり、軽い気持ちでも行えば重く罰せられます。その他、各授業で細かいルールもありますので、守るようお願いします。

- 5, 授業に関する質問等は担当の講師に遠慮無く聞いて下さい。質問の送付方法については担当の講師から説明を受けてください。また多大なストレスや不安によって心身に不調をきたしている学生も多いかと予想されます。その場合、文学部ではキャンパス・ソーシャルワーカーがメール、電話にて対応します。まずは教務委員である大川か哲学共同研究室までお知らせください(名前と学籍番号を必ず明記すること)。知り得た情報は秘匿しますのでご安心ください。

大川アドレス okawa●tamacc.chuo-u.ac.jp

※ ●を@に変更してご入力下さい。

哲学共同研究室アドレス tetsugaku-grp●g.chuo-u.ac.jp

※なお哲学共同研究室はしばらく電話では応対できません。メールにてお願いします。

- 6, 図書館が閉館されても、自宅からネットで見ることのできる書籍(電子書籍)や資料はあります。詳しくは中央大学図書館のHPでの「自宅から利用できる図書館サービスのご案内」を見て下さい。また自宅学習用にデータベースも拡充しました。詳しくは図書館の「データベース・サービス拡大情報(自宅学習・教育支援)」をご覧下さい。なお自宅から図書館のデータベースにアクセスするためにはVPN接続が必要です。これも図書館HPに方法が示されています。

- 7, 学生が企業から内定を取り消されるケース等が報道されています。新型コロナウイルスの影響により、内定取消に遭われた場合には、速やかにキャリアセンターにご相談ください。また、同理由により就職活動に支障が出ている場合についても、どうぞお気軽にキャリアセンターへご相談ください。

中央大学キャリアセンター(TEL:042-674-3500)

なおキャリアセンターは今後WEB面談を受け付ける予定です。近日中に案内が出ると思いますので、HPをチェックしてください。

専攻からの「お願い」は以上となります。

外出もままならない今の状況を翻って考えると、自宅でじっくり本を読み、内省に耽る観想的な生活(bios theōrētikos)を送る良い機会になるのではないのでしょうか。もちろんアリストテレスは今回のようなパンデミックを想定して言ったわけではないのですが。この際、今まで読むことが無かった世界の作家、思想家の作品に触れてみましょう。この経験が今後の学修の在り方に大きく影響できます。どうか良き読書人となってください！

以上